

SATOSHOJI

株主通信

第96期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

佐藤商事 株式会社



To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役会長

村田 和 夫

代表取締役社長

音羽 正 利

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第96期の業績及び当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当社グループの連結業績の概況は、財務ハイライトに記載のとおりであります。売上高2,168億9千6百万円、経常利益42億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は32億2千9百万円となりました。

当社は、利益配当金に関しましては、今後の収益見通しなどを考慮し、継続的に利益確保を図るとともに、継続的な安定配当として下限を原則30円とし、かつ連結配当性向は25%以上を方針としております。ただし、対象期間は当社中期経営計画の2020年3月末までとし、それ以降は業績などを総合的に勘案し、策定いたします。

当期の期末配当は上記の基本方針の下、当社グループを取り巻く経済環境、当連結会計年度の業績などを総合的に勘案し1株につき25円とさせていただきます。これにより、中間配当18円とあわせて年間配当は1株につき43円となります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

Consolidated Financial Highlights

連結決算ハイライト

業績の概況及び今後の展望

●2019年3月期業績のポイント

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中の通商問題による貿易摩擦の懸念などにより先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主力の商用車業界や建産機業界が好調に推移したことなどにより、売上高は2,168億9千6百万円(前年同期比4.1%増)となりましたが、神奈川コイルセンターの移設に伴う一時的な費用が発生したこと、不採算工事を受注したことなどにより、営業利益は38億円(前年同期比8.4%減)、経常利益は42億2千万円(前年同期比4.9%減)となりました。また、当社が保有する富士自動車興業株式会社の関係会社株式売却益(3億5千2百万円)の影響

で、親会社株主に帰属する当期純利益は32億2千9百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

●2020年3月期業績の展望

当社グループは、国内事業所と海外関係会社がさらなる連携を図ることにより、お取引先様へのサービスの質を高め、国内及び海外に販路のグローバル展開を推進してまいります。

次期2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高2,180億円、営業利益41億5千万円、経常利益45億円、親会社株主に帰属する当期純利益は32億5千万円を見込んでおります。

●設備投資

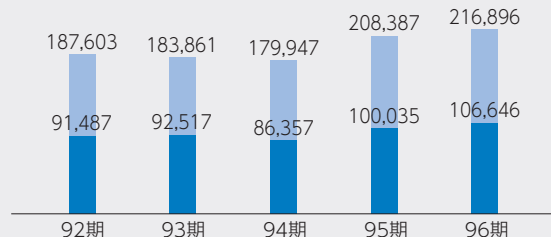
設備投資につきましては、将来に向けた工場設備の整備と商社としてふさわしい職場環境の整備の2つの観点から進めております。

財務ハイライト(連結)

売上高

216,896百万円(前年同期比 4.1%)

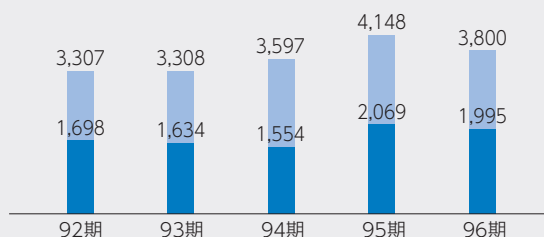
■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



営業利益

3,800百万円(前年同期比 8.4%)

■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



Consolidated Financial Highlights

連結決算ハイライト

第96期は、新神奈川コイルセンターの機械購入などで16億7千8百万円の設備投資を行いました。

事業の拡大と効率化を目的とした設備投資を継続することにより、将来とも業績向上を維持し、株主の皆様への還元を図ってまいります。

経営方針

●会社経営の基本方針

当社は、「流通・サービスを通じて広く社会に貢献すること」を基本方針としております。

●社内の管理体制

当社はあらゆる企業活動において法令を遵守し、内部管理体制を一層強化して透明性の高い経営体制を構築してまいります。

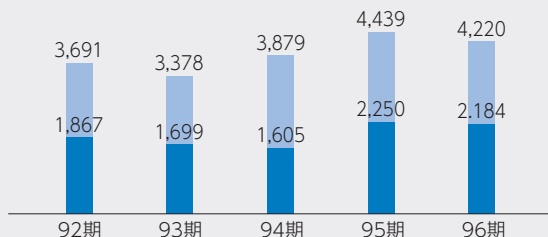
- 多額の取引、国内外の新会社の設立、既存会社への投資については「与信投資委員会」で多角的な視点から審査を実施しております。
- 加工不良などによる大きな損失の発生を抑制するため、加工品に特化したプロジェクトチームを設けております。また、あらかじめ指定した特定取引については、受注時から一定の条件で制限することでリスク軽減を図っております。
- コンプライアンス体制強化に向けた取り組みの一環として「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス経営実現のため議論を重ねています。
- 入社式、社内研修、社内報などあらゆる機会を通じて、法連遵守の徹底、管理の大切さを説いています。
- 必要な情報が確実に報告、連絡、相談される風通しの良い会社作りを目指しています。

財務ハイライト(連結)

経常利益

4,220百万円(前年同期比 4.9%▲)

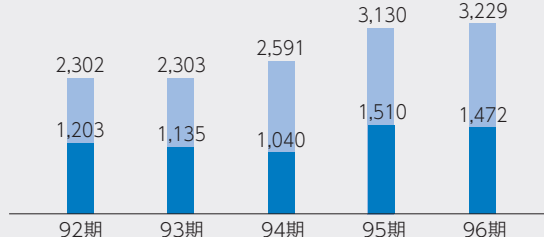
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

3,229百万円(前年同期比 3.2%▲)

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



●当社が目指している会社像

当社は89年の歴史と伝統を大切にしながら、常にチャレンジ精神と自負心をもって、変化、革新をし続ける会社です。

今後も株主様をはじめ、お取引先様、地域の皆様、OB・OGの皆様、社員ほかすべての関係者を大切にし、「社会から信頼され選ばれる商社」を目指してまいります。

●中長期的な会社の経営戦略

情報技術の発展やグローバル化の進展などにより、産業構造も含め、急速なスピードで事業環境の変化が進んでおります。その中で、当社は安定的に収益を向上させるべく、「商流の革新」「商材の発掘」を基本方針とし、「働きやすい職場環境作り」「IT関連投資等による事務合理化」「国内外での設備投資」「管理体制の強化」を経営の重点目標に掲げております。

現在、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、ライフ営業、機械・工具の各事業が、国内及び海外で営業を展開する中、国内においては、地域ニーズへの的確な対応と全社的な情報共有によるサービスの迅速化をベースに、一層の販路拡大と新商品の拡販に努めております。加えて、国内事業を効率的に推進するために、支店の新設及び統廃合、設備の更新を積極的に展開してまいります。

また、海外においては、アジア地域の販売体制強化戦略として2004年4月に香港に現地法人を設立したのを皮切りに、現在までにタイに2社、中国本土に3社、ベトナムに1社、韓国に1社、インドネシアに1社、インドに1社、カンボジアに1社の現地法人を設立、加えて取引先との合併事業としてタイに3社、中国に1社、台湾に1社の設立及び投資を行っております。

今後もグループ一丸となって、販路のグローバル化を推進していく所存です。

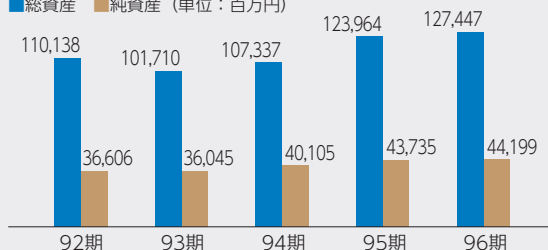
総資産

127,447 百万円

純資産

44,199 百万円

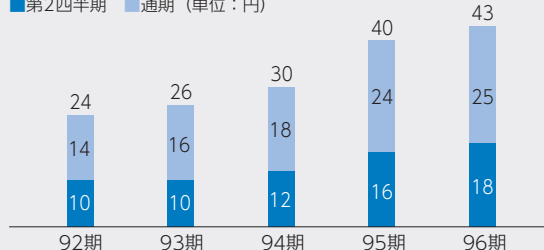
■総資産 ■純資産 (単位：百万円)



年間配当金

43 円 (中間配当金18円、期末配当金25円)

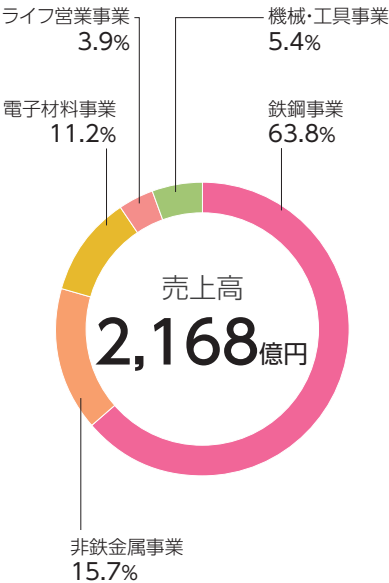
■第2四半期 ■通期 (単位：円)



Segment Review

事業別セグメントの概況

売上高構成比(当期)



	前年同期 (億円)	当期 (億円)	前年同期比 (%)
売上高	2,083	2,168	4.1
鉄鋼事業	1,291	1,384	7.2
非鉄金属事業	354	341	△3.7
電子材料事業	227	242	6.4
ライフ営業事業	84	85	0.9
機械・工具事業	126	116	△7.7

鉄鋼事業



●事業概況

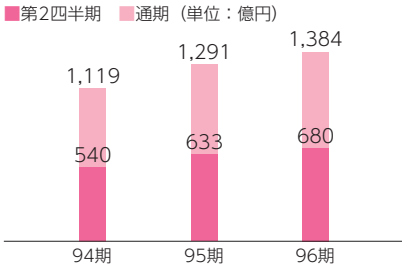
当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建産機、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は倉庫を所有し、切断などの一次加工も行っております。福島、栃木、神奈川にはコイルセンターを有しております。

●当期の概況

主要取引業界である商用車業界及び建産機業界が好調に推移したことなどにより、売上高は1,384億7百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

売上高の推移



非鉄金属事業



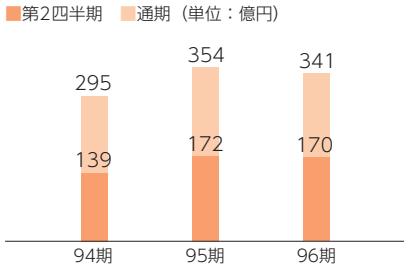
●事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、メタルシリコンなどの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。また、海外で調達した地金、自動車部品などを国内外に販売しております。

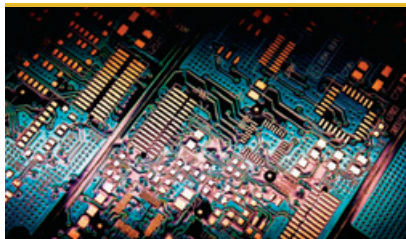
●当期の概況

主要取引業界である商用車業界が好調に推移しましたが、一部のユーザーの取引が現地調達に切り替わったことなどにより、売上高は341億3千4百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

売上高の推移



電子材料事業



●事業概況

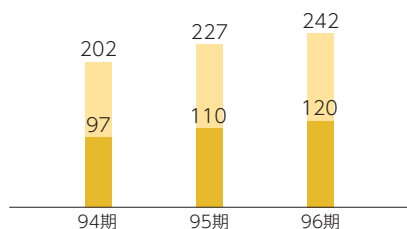
当事業においては、電子機器、電気製品及び車載機器に使用されるプリント配線基板用の積層板などの電子材料を、主に電子部品業界に販売しております。

●当期の概況

海外を中心とした主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が堅調に推移したことやコンデンサ及びメモリーなどの電子部品の新商材を拡販したことなどにより、売上高は242億1百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

売上高の推移

■第2四半期 ■通期 (単位：億円)



ライフ営業事業



●事業概況

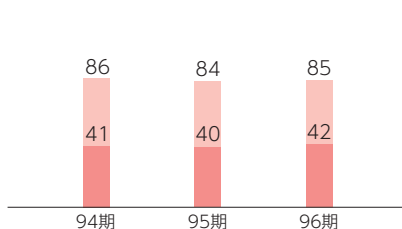
当事業においては、金属洋食器、陶磁器、インテリア用品、貴金属などの製品を、主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。加えて、直営アウトレット店の多店舗化をはじめとした小売事業も推進しております。また、輸入カラオケマイクなどの商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

●当期の概況

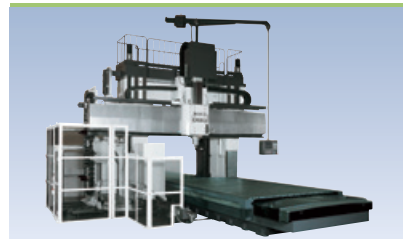
自社商品販売を推進しましたが、売上高は85億5百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

売上高の推移

■第2四半期 ■通期 (単位：億円)



機械・工具事業



●事業概況

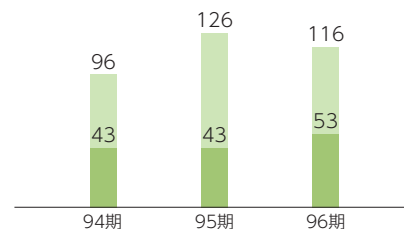
当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタなどの工作機械及び工場生産ライン一式、並びに切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

●当期の概況

前期に大型輸出物件があった影響で、売上高は116億4千6百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

売上高の推移

■第2四半期 ■通期 (単位：億円)



国内展開

新神奈川コイルセンターが本格稼働開始

当社は、神奈川県藤沢市の「新産業の森」に神奈川コイルセンターを移設、2018年10月より稼働を開始いたしました。従来の施設に比べ、敷地面積は約3倍の17,000㎡、建屋面積は約1.8倍の7,000㎡に拡張。最適レイアウトにすることで構内物流を整流化。新設設備により加工精度が向上し、作業効率も大幅に改善されました。今後も

主要ユーザーへの対応力を高めてまいります。

また、当コイルセンターの紹介ムービーを作成、公開いたしました。当社の事業内容と新神奈川コイルセンターの概要・設備等の紹介で構成されております。当社ウェブサイトからご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

神奈川県藤沢市



佐藤商事ウェブサイト <https://www.satoshoji.co.jp/>

ここをクリック



(2017年度～2019年度)中期経営計画の進捗に関するお知らせ

当社グループが2017年5月10日に発表した中期経営計画の進捗について、下記のとおりお知らせします。

1. 中期経営計画における2年目の進捗について

中期経営計画の2年目である2018年度におきましては、主力の商用車業界及び建産機業界が好調に推移したこと等に加えて、昨年に引き続き材料価格が寄与したことで、売上高は2,168億9千6百万円となり、当初の業績目標(連結売上高目標2,000億円)を大きく上回りました。営業利益は、一部不採算工事を受注したこと等の影響がございましたが、当初の業績目標のとおり38億円となっております。しかしながら、初年度と同様、当初策定時には、材料価格による

影響を見込んでおらず、その価格影響を除くと、業績目標の水準には達していません。

よって、最終年度である2019年度においても、引き続き当初掲げた課題目標及び各アクションプランを重点的に取り組んでいく方針とし、現時点で業績目標の変更はございません。

2. 配当方針について

中期経営計画の配当方針については、変更はございません。

海外展開

中国・広州に現地販売会社を設立 電子材料、鉄鋼販売のさらなる強化

当社は2011年に中華人民共和国・広東省深圳市に電子材料販売の拠点として現地販売会社を設立、2013年には広州市に鉄鋼販売の拠点として同社の支店を設立しました。昨今の広州における取引拡大に伴い、2018年6月、広州市に拠点を集約、新会社「広州佐商貿易有限公司」を設立いたしました。同年10月より営業開始しております。

北京、上海に次ぐ中国第3の都市、広州。広東省の省都として中国の発展をけん引しています。今後も中国経済の中心である広州にて、お取引先様へのサービス強化、事業拡大に努めてまいります。



カンボジア王国・プノンペンに 現地法人設立

昨今、チャイナリスク、タイ・プラスワンなどアセアン内での企業進出が注目されているカンボジア。お取引先様部品メーカーの同国進出に伴い、当社も鉄鋼・非鉄金属製品の物流を担う現地法人「サトーショージ カンボジア」を2018年6月、首都プノンペンに設立いたしました。同年8月より営業を開始しております。

この地を拠点の一つとし、当社のベトナム、タイ、インドネシアなどの現地法人と連携して、アセアン内でのますますの事業拡大を目指します。



海外ネットワーク

現地販売会社

香港佐藤商事有限公司〈電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)

香港佐藤商事有限公司 シンガポール支店〈電子材料販売〉

上海佐商貿易有限公司〈鉄鋼・非鉄金属・電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)

上海佐商貿易有限公司 常州分公司〈鉄鋼・非鉄金属/鋼材倉庫〉

広州佐商貿易有限公司〈電子材料・鉄鋼販売〉

韓国佐藤商事株式会社〈電子材料・鉄鋼販売〉

SATO-SHOJI(THAILAND)CO.,LTD.〈鉄鋼・電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)

SATO TECHNO SERVICE(THAILAND)CO.,LTD.〈工作機械の販売、機械修理サービス〉

SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD.〈非鉄金属・鉄鋼販売〉

SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD. HANOI BRANCH〈鉄鋼・非鉄金属販売〉

PT.SATO-SHOJI INDONESIA〈鉄鋼・非鉄金属販売〉

SATO-SHOJI INDIA PRIVATE LIMITED〈鉄鋼・非鉄金属販売〉

SATO-SHOJI(CAMBODIA)CO.,LTD.〈鉄鋼・非鉄金属販売〉

佐藤塑料玻璃(蘇州)有限公司〈合成樹脂加工販売〉

PS DEVICE & MATERIAL INC.〈電子材料販売〉

合併製造会社

曾我部(蘇州)減速機製造有限公司〈減速機製造〉

UCHIDA-SATO TECH(THAILAND) CO.,LTD.〈鍛造用ダイホルダー製造〉

YUASA SATO(THAILAND)CO.,LTD.〈クランクシャフト製造〉[\[持分法適用会社\]](#)

THAI KJK CO.,LTD.〈自動車部品製造〉

東京駅に当社のサインボード(駅看板)掲示

5月17日、当社は東京駅にサインボード(駅看板)の掲示を始めました。掲示場所は、本社への最寄りの出入り口である「東京駅日本橋口」エリア。その中でも一番人通りが多い通路の柱を選定しました。当社に来訪されるお客様の目

に触れやすい場所です。東海道・山陽新幹線「日本橋口改札」のすぐ前でもあり、多くの出張者の目にも留まります。看板サイズは、縦1m13cm、横80cm。これから当社の知名度向上と話題性に寄与することが期待されます。



サインボード

大きなマーシャンは遠くからも迫力あり

数十メートル先からでも目を引く内容とするよう、当社の登録商標である「マーシャン」を大きく表示しました。「マーシャン」は看板全体の半分をしめ、残り半分にコミカルなキャッチコピーをレイアウトしています。



東京駅日本橋口通路の様子

「マーシャン」を初めて見た人が必ず口にするこのフレーズ、「これなに!？」をそのまま大きなキャッチコピーにしました。続く小さなサブコピーでその疑問に答えるようになっています。長年愛されている「マーシャン」と当社の来年の創業90周年も同時にアピールしています。

佐藤商事オリジナルブランド

D&S

DESIGN AND STYLE

新商品の
ご紹介

ハンドブレンダー HAND BLENDER

「下ごしらえをもっと簡単に」「いつもと違う料理に挑戦したい」そんな願いを叶えてくれる、便利なハンドブレンダーが誕生しました。メイン料理からドレッシングやデザートまで、様々なレシピに活用できます。

日々の料理をボタンひとつで楽にしてくれるアイテムです。



1台4役 料理のあらゆるシーンで活躍する多機能ブレンダー



1 つぶす



ブレンダーシャフト

鍋の中で食材を手早く楽につぶせます。ポタージュやソース作りなどの調理をスムーズにこなします。



2 まぜる



ブレンダーシャフト+カップ

効率的に食材をつぶしながらまぜることができます。ジュース作りに最適です。



3 きざむ



チョッパー

野菜のみじん切りやミンチ作りがあっという間！手間のかかる下ごしらえが簡単に。



4 泡立てる



泡立て

ホイップやメレンゲが素早く簡単に仕上がります。



ハンドブレンダー

価格:10,000円(税別)

サイズ:約402mm

(ブレンダーシャフト使用時)

スピード調節機能

食材やお好みに合わせてスピード調整が可能！

ノーマルボタン使用時は速度調整ダイヤルで12段階の微調整ができます。



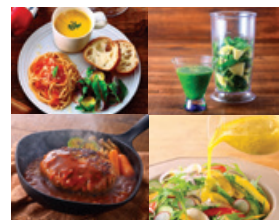
速度調整
ダイヤル

ノーマル
ボタン(通常)

ターボ
ボタン(高速)

レシピ付き

ハンバーグやポタージュ、ソース作りが今までよりも簡単に！ハンドブレンダーの機能を存分に使いこなして多種多様な調理をお楽しみいただけます。



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2018年3月31日現在	当連結会計年度 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	90,528	95,908
固定資産	33,435	31,538
有形固定資産	14,650	15,142
無形固定資産	198	192
投資その他の資産	18,586	16,204
資産合計	123,964	127,447
負債の部		
流動負債	66,125	69,769
固定負債	14,104	13,478
負債合計	80,229	83,247
純資産の部		
株主資本	35,156	37,418
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	880	878
利益剰余金	33,190	35,503
自己株式	△ 235	△ 284
その他の包括利益累計額	8,328	6,472
その他有価証券評価差額金	8,116	6,187
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 1
為替換算調整勘定	225	290
退職給付に係る調整累計額	△ 8	△ 4
新株予約権	245	303
非支配株主持分	4	5
純資産合計	43,735	44,199
負債純資産合計	123,964	127,447

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2017年4月 1 日～ 2018年3月31日	当連結会計年度 2018年4月 1 日～ 2019年3月31日
売上高	208,387	216,896
売上原価	191,949	200,620
売上総利益	16,438	16,276
販売費及び一般管理費	12,289	12,475
営業利益	4,148	3,800
営業外収益	652	766
営業外費用	361	346
経常利益	4,439	4,220
特別利益	47	399
特別損失	27	105
税金等調整前当期純利益	4,458	4,515
法人税、住民税及び事業税	1,427	1,353
法人税等調整額	△ 99	△ 68
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,130	3,229

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2017年4月 1 日～ 2018年3月31日	当連結会計年度 2018年4月 1 日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,058	△ 541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,659	△ 1,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	830	1,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231	△ 295
現金及び現金同等物の期首残高	1,907	2,139
現金及び現金同等物の期末残高	2,139	1,843

Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表(要旨)

個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 2018年3月31日現在	当事業年度 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	81,260	86,221
固定資産	33,540	31,552
有形固定資産	13,810	14,012
無形固定資産	165	164
投資その他の資産	19,565	17,375
資産合計	114,801	117,774
負債の部		
流動負債	61,803	65,713
固定負債	13,848	13,253
負債合計	75,652	78,966
純資産の部		
株主資本	30,991	32,425
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	789	789
利益剰余金	29,115	30,598
自己株式	△ 235	△ 284
評価・換算差額等	7,912	6,079
その他有価証券評価差額金	7,917	6,081
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 1
新株予約権	245	303
純資産合計	39,149	38,807
負債純資産合計	114,801	117,774

個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 2017年4月 1 日～ 2018年3月31日	当事業年度 2018年4月 1 日～ 2019年3月31日
売上高	186,008	193,900
売上原価	172,295	180,486
売上総利益	13,712	13,413
販売費及び一般管理費	10,604	10,740
営業利益	3,108	2,673
営業外収益	661	776
営業外費用	314	304
経常利益	3,456	3,146
特別利益	30	396
特別損失	56	133
税引前当期純利益	3,430	3,409
法人税、住民税及び事業税	1,169	1,096
法人税等調整額	△ 92	△ 73
当期純利益	2,353	2,386

Corporate Data & Stock Information

会社概要・株式の状況 (2019年3月31日現在)

● 会社概要

商 号 佐藤商事株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
本 社 丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311
設 立 1949年(昭和24年)2月5日
資 本 金 13億2,136万8,450円
従業員数 連結831名 単体629名
ホームページアドレス <https://www.satoshoji.co.jp/>

● 役員 (2019年6月21日現在)

取締役及び監査役

代表取締役会長 村 田 和 夫
代表取締役社長 音 羽 正 利
取 締 役 田 浦 義 明
取 締 役 野 澤 哲 夫
取 締 役 浦 野 正 美 (新任)
取 締 役 須 賀 和 徳 (新任)
取締役(社外) 斎 藤 脩
取締役(社外) 小 谷 健
常勤監査役(社外) 饗 庭 典 宏
監査役(社外) 原 嘉 男
監査役(社外) 赤 石 幹 雄

執行役員

代表取締役会長 村 田 和 夫 *
代表取締役社長 音 羽 正 利 *
専務執行役員 田 浦 義 明 *
常務執行役員 野 澤 哲 夫 *
常務執行役員 村 上 毅 一 郎
常務執行役員 浦 野 正 美 *
常務執行役員 藤 倉 諭 (新任)
上席執行役員 秋 元 雅 行
上席執行役員 小 松 和 夫
上席執行役員 小 野 誠 一
上席執行役員 内 田 秋 夫
上席執行役員 須 賀 和 徳 *
上席執行役員 伊 藤 明 彦
執行役員 白 幡 剛
執行役員 西 山 正 弘
執行役員 長 田 博 夫
執行役員 杉 井 淳 (新任)
執行役員 奈須野 匡 (新任)

※当社は取締役 斎藤脩氏、小谷健氏、常勤監査役 饗庭典宏氏、監査役 原嘉男氏及び赤石幹雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

※ *は、取締役を兼任する者であります。

● 株式の状況

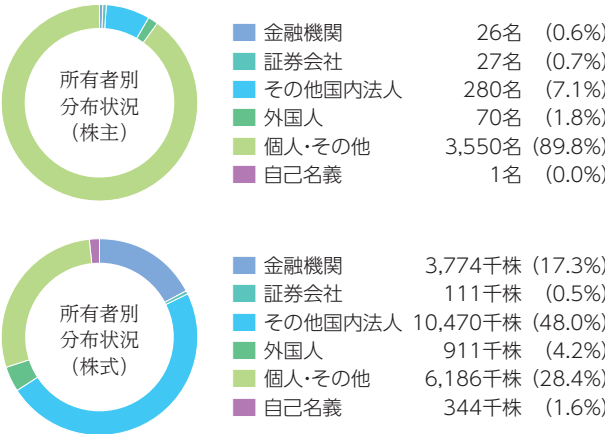
発行可能株式総数 87,000,000株
発行済株式の総数 21,799,050株
株 主 数 3,954名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三神興業株式会社	1,584	7.4
いすゞ自動車株式会社	1,451	6.8
日野自動車株式会社	1,270	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	683	3.2
NOK株式会社	619	2.9
株式会社りそな銀行	554	2.6
佐藤商事取引先持株会	548	2.6
三原不動産株式会社	530	2.5
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
JFEスチール株式会社	500	2.3

持株比率は自己株式(344千株)を控除して算出しております。

● 株式分布状況



Network

国内ネットワーク

当社の事業所・関連会社のグループネットワークは日本全国に広がっています。

●事業所

苫小牧支店	浜松支店
札幌ライフ支店	名古屋支店
岩手支店	名古屋ライフ支店
秋田支店	名古屋鋼材センター
大館支店	滋賀支店
鶴岡支店	大阪支店
山形支店	大阪ライフ支店
福島支店	LE営業部
郡山支店	関西鋼材センター
鉄鋼二部第一課(茨城)	兵庫支店
栃木支店	岡山支店
太田支店	岡山鋼材センター
埼玉支店	福山支店
神奈川支店	広島支店
新潟支店	広島ライフ支店
長岡支店	四国支店
新潟流通センター	北九州支店
北越支店	九州支店
富山支店	福岡ライフ支店
長野支店	熊本支店

●国内連結子会社

エヌケーテック株式会社	メタルアクト株式会社
日本洋食器株式会社	佐藤ケミグラス株式会社

●国内持分法適用会社

山形クラッチ株式会社	ネポン株式会社
------------	---------

●国内関連会社

関根鋼材株式会社	湘南加工株式会社
佐藤ゼネテック株式会社	大東鋼業株式会社
富士自動車興業株式会社 (2019年5月8日設立)	

● 本社
● 事業所 40ヵ所



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.satoshoji.co.jp/ir/index3.html
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続き

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

佐藤商事 株式会社

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。